

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年5月2日（木）
- 2 確認箇所
瓦礫類一時保管エリアO（オー）
- 3 確認項目
瓦礫類一時保管エリアO（オー）の状況

4 確認結果の概要

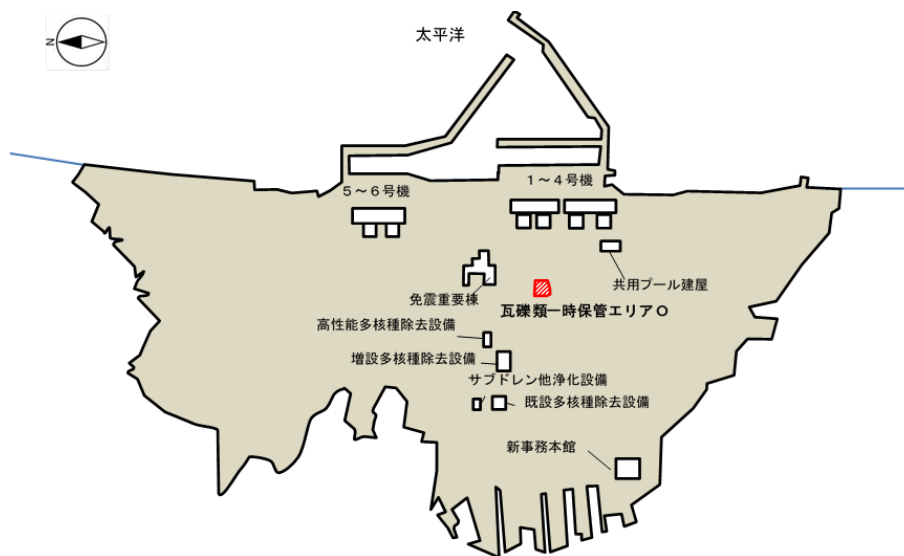
今般、福島県沖を震源とする地震が連続して発生している。そのため、令和4年3月16日に発生した地震の影響で瓦礫類を収納したコンテナの傾き等が確認された瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）の状況確認を順次行っている。

今回は、一時保管エリアOの状況を確認した。（図1）（前回確認：[令和4年8月23日](#)）

なお、福島第一原子力発電所の構内には、30か所以上の一時保管エリアが点在しており、瓦礫等を表面線量率に基づいて分類し、保管している。今回確認した一時保管エリアOは、保管する瓦礫類の受入目安表面線量率を0.01mSv/h(23,600m³/分)または0.1mSv/h(20,500m³/分)としている（福島第一原子力発電所特定原子力施設に係る実施計画）。

- ・一時保管エリアOは産業廃棄物の最終処分場^{*}として使われている場所であり、産業廃棄物を埋め立てた上部をフェーシング（アスファルト舗装、モルタル吹き付け）し、その上に震災後に発生した瓦礫類を一時的に保管している。
- ・1m³コンテナが最大5段積みで保管されており、ほとんどのコンテナには緑色のネットがかけられていた。（写真1）
- ・確認した範囲では、コンテナに転倒や傾きは確認されなかった。

※ 産業廃棄物の最終処分場：当処分場の処分対象は、建設廃材・廃プラスチック類・ゴムくず・ガラスくず及び陶磁器くず・金属くず。そのまま埋め立て処分しても環境保全上支障のないものだけを埋め立てている。放射性廃棄物の最終処分を目的とした処分場ではない。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
一時保管エリア○におけるコンテナ
の保管状況①



(写真1-2)
一時保管エリア○におけるコンテナ
の保管状況②



(写真1-3)
一時保管エリアOにおけるコンテナ
の保管状況③

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。